

年 組 名前:

問1

富士河口湖町のウエディング事業などを手がける会社は、どこを会場に、だれ向けのウエディング事業を始めましたか。

・会場

..... 地域

・だれ向け

.....

問2

具体的には、下記についてどのような特徴がありますか。

・挙式

.....

・披露宴

.....

・料理

.....

・ギフト

.....

問3

小佐野社長は、このウエディング事業を行うことで、地域をどのようにしていきたいと話していますか。

.....

.....

.....

富士北麓会場に 訪日客向け挙式



ウエディング事業などを手がける和文化传播研究所（富士河口湖町小立、小佐野文子社長）は、富士北麓地域を会場にしたインバウンド（訪日客）向けのウエディング事業を始めた。神社での挙式やホテル庭園での披露宴を通して日本の料理や文化を体験できるようにする。新型コロナウイルス禍の入境規制が緩和されて以降増加しているインバウンドに対し、富士山が見える場所での結婚式をPRする。

（山本昂輝）

同社によると、プランは希望に合わせて会場や内容を変更可能。一例として、富士河口湖町河口の河口浅間神社で挙式をした後、コテージやホテルの庭園で披露宴を行うことができる。天ぷらなどの日本料理を中心に、ワインや日本酒を味わってもらおう。

和文化传播研究所の手がけたインバウンドウエディング
＝富士河口湖町河口

と着物の着付けを体験できるプランもある。いずれも担当者が英語で紹介することで、「日本文化への理解を深めてもらう」（小佐野社長）という。ウエディングギフトには山梨県特産の水晶のジュエリーなどを贈る。

2022年から数件のインバウンドウエディングを手がけ、昨年は河口湖畔のホテルで外国人カップルが出席者65人規模の結婚式を行った。今年にはインバウンド向けの外国語のホームページを作るなどPRに力を入れ、事業として確立させていく。

国内ではこれまで京都府などでインバウンドウエディングが行われていたが、「県内ではほとんどなかった」（担当者）。世界文化遺産の富士山がある山梨県に注目が集まっている、県内でもインバウ

ンドウエディングに十分な需要を見込んでいる。3月にはオーストラリアのカップルの結婚式を予定している。将来的にはインバウンドウエディングのみで年間20件の結婚式を手がけることを目指す。

小佐野社長は「地元の食材や場所にとこだわり、質の高い結婚式を提供することで、地域活性化につなげていく。富士北麓地域をインバウンドウエディングの聖地にしていきたい」と話している。

(2024年1月30日付 山梨日日新聞 7面)